

柳井市の公共交通の基本方針・目標の達成状況について

基本理念

柳井広域都市圏の中心となる持続可能な公共交通

基本方針① 公共交通の適切な役割分担と連携による交通サービスの維持

- 公共交通の役割分担を明確化し、それぞれが連携し、補いあうことで役割に応じた交通サービスを維持する。
- 今後の高校再編や移動ニーズを踏まえたサービスの見直しや改善に取り組む。

基本方針② 公共交通を利用しやすい環境の整備

- 公共交通を誰もが利用しやすくするために、分かりやすく、適切な情報発信を行う。
- 誰もが安心して利用できる乗り継ぎ拠点や待合環境の整備を検討する。
- 公共交通を身近に感じてもらえるような機会を提供する。

基本方針③ 住民、事業者、行政の協力による持続可能な公共交通の構築

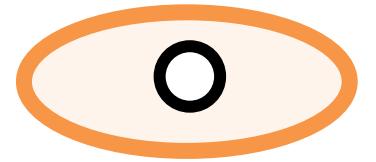
- 公共交通を担う人材の確保に向けて、住民、事業者、行政が協力し、それぞれの立場でできる取組みを行う。
- 交通事業者の経営効率化・経営力強化を図るDXの推進は必要不可欠である。
- DX推進の基盤づくりとして、誰もがデジタル化への抵抗をなくせるような支援を行う。

将来交通網（概略）



凡例

都市拠点
(居住誘導区域)



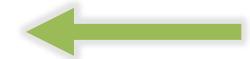
幹線 (鉄道)



幹線 (バス)



支線 (バス・航路)



支線 (デマンド)



区分	対象路線	役割
幹線	<p>【鉄道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR山陽線 <p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柳井駅前～徳山駅前 ・ 柳井駅前～上関（脇の浜） ・ 大屋東～イオンタウン平生 ・ 大畠駅～町立橘医院前・棟畑 <p>【航路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柳井港～三津浜港 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柳井市（主に柳井駅周辺の都市拠点）と近隣町及び岩国・徳山方面を結び、広域的で需要の大きな移動を担う ・ 国の地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金）を活用し、路線を維持する
支線 （定時定路）	<p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柳井駅前～柳井医療センター ・ 周東病院～柳井駅前～田尻 ・ 柳井駅前～周東病院～田布施駅前 ・ 上馬皿循環 <p>【航路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柳井港～平郡東港 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市拠点（柳井駅周辺）と地域拠点を結び、柳井市内の移動を担う。もしくは市内と市外を結ぶ中程度の移動需要を担う ・ 国の地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）を活用し、路線を維持する。 ・ 航路については、路線改善計画に基づく持続的な運営とともに、地域公共交通確保維持改善計画維持改善事業（離島航路運営費等補助金）を活用し、航路を維持する。
支線 （デマンド）	<p>【乗合タクシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日積ふれあい号、いかちまいか号 ・ 大畠うずしお号、阿月神明号 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柳井市内の地域拠点と都市拠点（柳井駅周辺）を結び、需要が小さく、柔軟性の高い移動を担う
その他	<p>【ボランティア輸送】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日積ささえあい交通 <p>【一般タクシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹線、支線では対応できない地域内での個別の移動需要を担う ・ 市内での移動を中心に、自由度と利便性の高いサービスを提供する

目標	評価指標	事業
基本方針① 公共交通の適切な役割分担と連携による交通サービスの維持		
<p>【目標1-1】 公共交通の役割分担と機能の維持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR利用者数 ・ 路線バス利用者数 ・ 予約制乗合タクシー利用者数 ・ 航路利用者数 	<p>事業①-1 周辺自治体と連携した幹線の維持 事業①-2 予約制乗合タクシーの持続的な運営 事業①-3 島民の生活を支える航路の維持</p>
<p>【目標1-2】 利用しやすい交通サービスの提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内3路線のJR乗継時間 ・ 新高校への公共交通での通学割合 	<p>事業①-4 幹線へ乗り継ぎやすいダイヤの設定 事業①-5 高校再編に対応したバス路線の整備</p>
基本方針② 公共交通を利用しやすい環境の整備		
<p>【目標2-1】 公共交通の利用を促す情報発信と環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境整備の実施箇所数 	<p>事業②-1 公共交通に関する情報発信の充実 事業②-2 利用しやすい待合・乗継環境の整備</p>
<p>【目標2-2】 公共交通を使ってもらえる機会や制度の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り方教室の開催回数 ・ おでかけサポート事業の利用率 	<p>事業②-3 乗り方教室や地域活動での公共交通の利用促進 事業②-4 高齢者おでかけサポート事業の見直し</p>
基本方針③ 住民、事業者、行政の協力による持続可能な公共交通の構築		
<p>【目標3-1】 公共交通を担う人材の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転士の就職数 ・ バス運転士の充足率 ・ おでかけサポート事業の申請件数 	<p>事業③-1 交通事業者の人材確保への支援 事業③-2 新たな取り組みによる担い手の確保</p>
<p>【目標3-2】 交通のDXを見据えた基盤づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICカードでの決済割合 ・ スマホ教室開催回数 	<p>事業③-3 助成券事業のデジタル化の検討 事業③-4 デジタル化に向けた利用者支援</p>

評価指標Ⅰ 路線バス、予約制乗合タクシーの利用者一人あたりの財政支出額

概要

- 公共交通の機能の維持を図りながら、運行収支の改善や利用者数増加の取組により、利用者一人あたり財政支出額を現状以下とすることを旨とする。

評価

	目標値（令和5年度実績）	令和7年度実績 （令和6年10月～令和7年9月末）
財政支出額（参考）	43,247,818円	53,228,910円
延べ利用者数（参考）	518,513人	623,062人
一人あたり財政支出額	83.4円	85.4円

※財政支出額、延べ利用者数は目標値ではなく一人あたり財政支出額を求めるための数値

- 国庫補助金等が確定していないため見込での算出であるが目標値は達成できていない。利用者数は増加しているが同時に財政支出額も増加していることで2円目標値に届かない結果となった。

評価指標 2 路線バス、予約制乗合タクシーの収支率

概要

- 運行に係る人件費や燃料費の高騰を想定しつつも、利便性向上や利用促進による利用者数の増加を目指し、運賃収入の増加と収支率の改善を目指す。

評価

	目標値	令和7年度実績 (令和6年10月～令和7年9月末)
路線バス	42.6%以上	30.0%
予約制乗合タクシー	21.0%以上	18.9%

- 路線バス、予約制乗合タクシーともに利用者数は増加しているが物価高の影響等によりコストがかかっている。

評価指標 3 鉄道の利用者数

概要

- 利用促進により、現状以上の利用者数を目指す。

評価

目標値（令和5年度実績）	令和6年度実績
908,358人以上	898,630人

※令和7年度の実績は現時点では不明なため、令和6年度のものであります。

- 当年4月から翌年3月末までの利用者数となるため令和7年度利用者数は来年度以降に報告予定。
- 今回は令和6年度の数値となり、令和5年度実績と比較すると約10,000人減っており、ニーズに合った路線バスや予約制乗合タクシーのダイヤの見直しを検討していき乗継しやすい環境づくりに努める。

評価指標 4 路線バス（幹線）の年間利用者数

概要

- 現状（令和5年度）以上の利用者数を目指す。

評価

目標値（5年度実績）	令和7年度実績 （令和6年10月～令和7年9月末）
478,226人以上	581,298人

路線バス（幹線）

- ・柳井駅前～徳山駅前
- ・柳井駅前～上関（脇の浜）
- ・大屋東～イオンタウン平生
- ・大島駅～町立橋医院前・棟畑

- 約10万人増加しており、目標値を大幅に上回っています。今後も利用者のニーズ等を把握、実施していくことでさらなる利用者拡大を目指す。

評価指標 5 路線バス（支線）、予約制乗合タクシー年間利用者数

概要

- 現状（令和5年度）以上の利用者数を目指す。

評価

	目標値（令和5年度実績）	令和7年度実績 （令和6年10月～令和7年9月末）
路線バス	31,764人	32,220人
予約制乗合タクシー	8,523人	9,544人

路線バス（支線）

- 柳井駅前～柳井医療センター
- 周東病院～柳井駅前～田尻
- 柳井駅前～周東病院～田布施駅前
- 上馬皿循環

- 路線バスでは、約500人増えており、予約制乗合タクシーは約1,000人増えており目標を達成している。

評価指標 6 市内の高校における公共交通での登校割合

概要

- 現状よりも公共交通での通学割合を向上させる。

評価

- 最終年度に市内高校へのアンケートにより評価する。

評価指標 7 高齢者おでかけサポート事業の申請率

概要

- 柳井、新庄、余田、伊保庄の4地区での高齢者おでかけサポート事業の申請率40%まで向上させる。

評価

目標値	柳井	新庄	余田	伊保庄
40%	34%	31%	18%	22%

- 令和7年度に関しまして、4地区とも目標は達成できていない。
今後は、高齢者おでかけサポート事業についてもYANACAによる併合運用を予定していることから、改めて周知を行い、申請率の向上を図る。。

評価指標 8 バス運転士の充足率

概要

- 運転士充足率を現状よりも向上させる。

評価

目標値	令和7年度（平日）	令和7年度（休日）
1.33%以上	1.38%	1.81%

- 平日・休日ともに目標値は達成しているものの、若手ドライバーが不足している状況にある。今後は、現状の水準を維持するとともに、若手ドライバーの確保・育成に向けた支援策を検討していく。

事業①-1 周辺自治体と連携した幹線の維持

事業の背景

- 柳井広域都市圏の核としての機能を維持していくため、「周辺自治体から柳井市中心部への移動」「柳井市中心部から周南・岩国という近隣都市圏への移動」を担う幹線を維持していく必要がある。

事業内容

- 路線の役割や位置づけについて、沿線自治体で定める内容との整合を図る。
- 利用者のニーズに対応した継続的なサービス改善を周辺自治体と連携して実施する。
- 一方で、交通事業者単体では継続運行が難しい状況であることを踏まえ、補助金や負担金を活用した支援を継続していく。

達成状況

- 7月に周辺自治体と連携を図るため、意見交換会を開催。
- 補助金や負担金にて交通事業者のサポートを行った。

実施主体

柳井市、JR西日本、防長交通、周辺自治体

事業①-2 予約制乗合タクシーの持続的な運営

事業の背景

- 市内の各地域と中心市街地を結ぶ予約制乗合タクシーは地域住民の生活を支える役割を担っており、今後も路線バスや鉄道と連携を図りながら、持続的な運営を行っていく必要がある。

事業内容

- 地域のニーズに対応した継続的なサービス提供を3者と連携して協議する。
- 事業改善を目的とし、地区社会福祉協議会間で連携を図る。
- 若年層に向けて、ニーズを把握した上で、ダイヤの見直し等を行う。
- 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）を活用した維持を継続する。

達成状況

- 地域のニーズに対応するため協議を行った。
- 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の申請を行った。

実施主体

柳井市、地区社会福祉協議会、柳井三和交通（株）、柳井第一交通（株）

事業①-3 島民の生活を支える航路の維持

事業の背景

- 島民の生活移動を担う平郡航路を維持していく必要がある。
- 航路の利用者数は島民の減少に伴って減少しており、新たな利用客の開拓に向けては、老朽化が進むカーフェリーを更新する必要がある。

事業内容

- 今年度策定する航路改善計画に基づき、航路の持続的な経営に取り組む。
- 利用者数の維持のため、サービス改善や取組みを継続して行う。

達成状況

- 航路改善計画に基づき、補助金を交付。
- 事業を継続させるため、現在カーフェリーの更新中。

実施主体

柳井市、平郡航路

事業①-4 幹線へ乗り継ぎやすいダイヤの設定

事業の背景

- 幹線への乗継利用時の待ち時間が長く、利用しづらい支線ダイヤが存在している。
- 幹線への乗換の利便性を高めることで、利用者数の確保に努める必要がある。

事業内容

- 支線の路線バスから、幹線となるJRや路線バスへの乗継時刻を考慮したダイヤ設定を行う。具体的には徳山、岩国方面などの市外への外出に利用しやすい乗継時間となるように調整を図る。

達成状況

- 箕越から樋上方面へのルートについて、麗都路通りを經由し、みどりが丘図書館へ至る経路へ変更。
- 現在のダイヤ設定
※全体として平均待ち時間は減少しているが、徳山方面から上馬皿方面への乗り継ぎにおいては、待ち時間が増加している。（17ページ参照）

事業①-4 幹線へ乗り継ぎやすいダイヤの設定

以前

往路	上馬皿方面→徳山・岩国方面			
防長バス	JR			
着時刻	徳山方面		岩国方面	
7:44	7:54	0:10	8:01	0:17
8:29	8:53	0:24	8:33	0:04
8:56	9:22	0:26	9:53	0:57
10:34	11:20	0:46	10:47	0:13
11:13	11:20	0:07	11:47	0:34
11:53	12:20	0:27	12:47	0:54
13:09	13:20	0:11	13:47	0:38
13:58	14:20	0:22	14:47	0:49
14:33	15:11	0:38	14:47	0:14
15:13	16:13	1:00	15:36	0:23
15:49	16:13	0:24	16:28	0:39
16:23	16:41	0:18	16:28	0:05
17:09	17:17	0:08	17:31	0:22
平均待ち時間	0:24		0:28	

復路	徳山・岩国方面→上馬皿方面			
JR				防長バス
徳山方面		岩国方面		発時刻
8:00	0:06	7:53	0:13	8:06
8:32	0:01	7:53	0:40	8:33
9:52	0:19	9:21	0:50	10:11
10:46	0:04	10:19	0:31	10:50
10:46	0:44	11:19	0:11	11:30
11:46	0:42	12:19	0:09	12:28
12:46	0:49	13:19	0:16	13:35
13:46	0:24	13:19	0:51	14:10
14:46	0:04	14:19	0:31	14:50
14:46	0:40	15:10	0:16	15:26
15:35	0:25	15:10	0:50	16:00
16:27	0:19	16:40	0:06	16:46
17:30	0:11	17:16	0:25	17:41
0:22	0:26		平均待ち時間	

現在



防長バス	JR			
着時刻	徳山方面		岩国方面	
7:44	7:54	0:10	8:01	0:17
8:37	8:53	0:16	8:54	0:17
9:14	9:22	0:08	9:51	0:37
10:42	11:17	0:35	10:47	0:05
11:51	12:17	0:26	12:47	0:56
14:11	14:17	0:06	14:47	0:36
15:11	15:17	0:06	15:36	0:25
16:16	16:41	0:25	16:26	0:10
17:17	17:46	0:29	17:31	0:14
平均待ち時間	0:17		0:24	



JR				防長バス
徳山方面		岩国方面		発時刻
8:00	0:06	7:53	0:13	8:06
8:32	0:11	7:53	0:50	8:43
9:50	0:21	9:21	0:50	10:11
10:46	0:34	11:16	0:04	11:20
12:46	0:54	13:16	0:24	13:40
13:46	0:54	14:17	0:23	14:40
15:35	0:10	15:16	0:29	15:45
16:26	0:20	16:40	0:06	16:46
0:26	0:24		平均待ち時間	

事業①-5 高校再編等に対応した通学手段の確保

事業の背景

- 令和8年度に予定されている柳井地域・周南地域における高校の再編統合では、現在の柳井高校と田布施農工の2校へ新高校が設置される計画となっており、再編統合後の通学手段としての公共交通を見直す必要がある。

事業内容

- 高校再編による生徒の通学手段を把握し、バス路線をはじめとする公共交通の見直しを検討する。
- 小中学校のスクールバスの活用を検討する。
- 公共交通を利用した通学方法の情報提供・発信に努める。

達成状況

- 高校再編後の通学状況を見て検討。

事業②-1 公共交通に関する情報発信の充実

事業の背景

- WEB上における公共交通を利用するための情報が不足している。
- 市民に対しても、市内の公共交通に関する情報発信が十分ではない。

事業内容

- WEB上での検索に対応できるように、交通事業者へGTFS整備の働きかけを行う。
- 柳井市公共交通総合時刻表のブラッシュアップの実施。

達成状況

- 令和8年1月中旬にYANACAのスマートフォンアプリをリリースする予定であり、これによりスマートフォンを活用した情報発信が可能。

事業②-2 利用しやすい待合・乗継環境の整備

事業の背景

- 柳井駅など、多くの利用者が乗継や待合を行う拠点であっても案内サインが見えづらい配置となっていたり、乗継利用への配慮が不足している箇所が見受けられます。

事業内容

- 柳井駅などの主要な乗継拠点での案内サイン類の改善と、待合環境の整備を行う。

達成状況

- 今後、JRと協議し検討。

実施主体

柳井市、JR西日本、防長交通

事業②-3 乗り方教室や地域活動での公共交通の利用促進

事業の背景

- 市民の公共交通への興味・関心を高め、公共交通を利用しようという意識の醸成を図る。

事業内容

- 小学生や高齢者を対象とした公共交通の乗り方教室を開催する。
- 健康づくり活動や地域サロンへの移動手段として、公共交通の利用の呼びかけを行う。

達成状況

- 今後、YANACAの説明会を通じて、予約制乗合タクシーの利用促進を図る。

事業②-4 高齢者おでかけサポート事業の見直し

事業の背景

- 免許返納後の高齢者をはじめとした移動に不安を抱える方々が、「高齢者おでかけサポート事業」を、より活用しやすくするための改善を実施する。

事業内容

- 助成券の交付条件や使用についての制限を見直しを検討する。
- 具体的には、年齢制限と助成券使用上限額の見直し（地域格差の改善）を検討する。
※事業の見直しによりタクシーの利用増加が想定されるため、事業①-2, ③-1, 2などのタクシーの運転士不足への対策と平行して実施する必要がある。

達成状況

- 事業の見直しを行い、令和7年10月1日から15歳から74歳までを対象に「YANACA（ヤナカ）」の運用を開始し、75歳以上は「高齢者おでかけサポート事業」にて助成を行った。
- 令和8年度から75歳以上もYANACAに統一し、金額の見直しも行う予定。

事業③-1 交通事業者の人材確保に対する支援

事業の背景

- 交通事業者の人手不足が深刻化しており、運転士確保を支援していく必要がある。

事業内容

- 山口県と連携を図りながら、交通事業者の採用活動支援を実施する。

達成状況

- 今年度も合同就職フェアを開催予定。

事業③-2 新たな取り組みによる担い手の確保

事業の背景

- 交通事業者の人手不足の深刻化に対応するため、運転士の確保と並行して、ライドシェアなどの新たな取り組みを進めていく必要があります。

事業内容

- 日本版ライドシェアの取組の継続し、効果や問題点の検証。

達成状況

- 利用実態を確認しながら利用策などについて今後検討。

事業③-3 交通DX技術導入の検討

事業の背景

- 「高齢者おでかけサポート事業」等では紙の助成券を使用している。紙の助成券の発行、保管、集計処理等を行う交通事業者及び行政の負担軽減と利用者へのサービス向上にはデジタル化が必要不可欠である。

事業内容

- 助成券のデジタル化に向けた検討を行う。

達成状況

- 「高齢者おでかけサポート事業」の対象年齢を拡大し令和7年10月1日から「YANACA（ヤナカ）」の運用を開始し、今年度は15歳から74歳までを対象にプラスチック型カードの交付を行った。令和8年度からは75歳以上も紙での交付ではなく、YANACAをご利用いただく予定。

実施主体

柳井市、その他（山口県等）

事業③-4 デジタル化に向けた利用者支援

事業の背景

- 交通DXを進めていくうえで、利用者側もデジタル化に対応していただく必要があるため、行政からの支援を実施していくことが重要となる。

事業内容

- 市が主催する「スマホ何でも相談会」等において、地図アプリや、防長交通のバスロケーションシステム「BUSit」、JR西日本の「列車運行情報アプリ」などの使い方の説明を行う。

達成状況

- YANACAの交付申請時にてアプリでの案内を行い、交通DXの推進を図る。